

## 第4 部隊運用訓練

### 1 主眼

- (1) 被災地消防本部及び静岡県内消防応援隊と、県外から先着する統合機動部隊、後続する都県大隊との情報共有、連携の強化
- (2) 複数の都県大隊が互いに連携した活動の実施
- (3) 特殊車両（小型救助車、水陸両用車等）の効果的な活用及び検証
- (4) 指揮支援隊長の管理及び都県大隊長の指揮の下で安全管理を徹底した活動
- (5) 現地合同調整所における関係機関との情報共有及び活動調整
- (6) NBC 災害対応能力の向上

### 2 自然災害対応訓練

#### (1) 伊豆エリア

##### ア 目的

- (7) 令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、強い揺れにより多くの建物が倒壊し、多数の住民が生き埋めになった。伊豆半島でも同様の災害が発生する恐れがあるため、効率的、有効的な活動の確認
  - a ブリーチング、閉鎖空間能力の向上 ※支柱器具、重量物除去
  - b 各機関との連携した道路啓開活動
  - c 地震等により、病院機能を亡失した医療機関又は負傷者多数事案など、局所的な救急需要の高まりに対応する効果的な活動（大規模転院搬送）
- (4) 令和3年熱海市伊豆山など近年増加傾向にある土砂災害への対応、車両進入が困難現場での効率的、有効的な活動の確認

##### イ 土砂災害救助訓練

#### (7) 日時

令和6年11月13日（水）午後2時00分から午後5時00分まで

令和6年11月14日（木）午前8時30分から午前10時00分まで

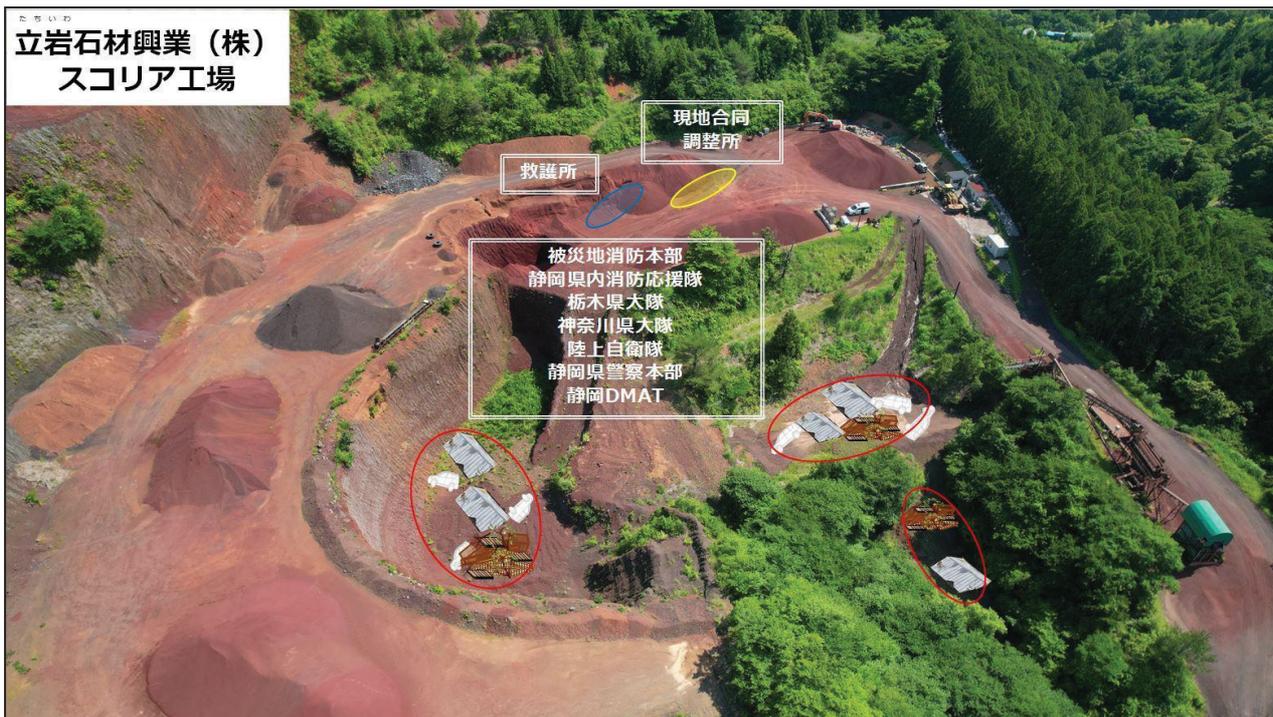
#### (4) 場所

立<sup>たち</sup>岩<sup>いわ</sup>石材興業（株）スコリア工場

#### (4) 参加者

- a 被災地消防本部（駿<sup>すま</sup>東伊豆消防本部）
- b 静岡県内消防応援隊（下田消防本部、熱海市消防本部、富士山南東消防本部、富士市消防本部）
- c 緊急消防援助隊（栃木県、神奈川県）
- d 陸上自衛隊（第34普通科連隊）
- e 静岡県警察本部
- f 静岡DMAT

(イ) 訓練レイアウト



(ロ) 実施状況

| 車両進出困難現場への資機材搬送   | コンクリートパネル搬送状況  |
|---|--|
|  |  |
| 水陸両用バギーでの患者搬送状況   | 土砂災害からの救出状況  |
|  |  |

ウ 座屈倒壊建物救助訓練

(7) 日 時

令和6年11月13日（水）午後2時00分から午後5時00分まで

令和6年11月14日（木）午前8時30分から午前10時30分まで

(4) 場 所

天城ふるさと広場 多目的グラウンド

(7) 参加者

- a 被災地消防本部（駿東伊豆消防本部）
- b 静岡県内消防応援隊（志太広域事務組合志太消防本部、御前崎市消防本部、菊川市消防本部、掛川市消防本部、袋井市森町広域行政組合袋井消防本部、磐田市消防本部、浜松市消防局、湖西市消防本部）
- c 緊急消防援助隊（東京都）
- d 陸上自衛隊（第34普通科連隊）
- e 静岡県警察本部
- f 静岡DMAT
- g 認定NPO法人災害救助犬静岡

(2) 訓練レイアウト



(カ) 実施状況

|   |  |
|---|--|
| <p>座屈倒壊現場の状況</p>  | <p>梯子車での救出状況</p>   |
|    |    |
| <p>狭あい箇所サーチングの状況</p>  | <p>中高層建物からの救出状況</p>  |
|   |   |
| <p>狭あい箇所からの救出状況</p>   | <p>座屈倒壊建物からの救出状況</p>   |
|  |  |
| <p>支柱器具設置状況</p>   | <p>車両からの救出状況</p>   |
|  |  |

エ 救護所設置・運営・患者搬送訓練

(7) 日 時

令和6年11月13日（水）午後2時00分から午後5時00分まで

令和6年11月14日（木）午前8時30分から午前10時30分まで

(i) 場 所

立<sup>たらいわ</sup>岩石材興業（株）スコリア工場、天<sup>あまぎ</sup>城ふるさと広場多目的グラウンド、天<sup>あまぎ</sup>城会館（仮想病院）

(ii) 参加者

a 被災地消防本部（駿<sup>すんとう</sup>東伊豆消防本部）

b 静岡県内消防応援隊（下田消防本部、熱海市消防本部、富士山南東消防本部、富士市消防本部、志太広域事務組合志太消防本部、御前崎市消防本部、菊川市消防本部、掛川市消防本部、袋井市森町広域行政組合袋井消防本部、磐田市消防本部、浜松市消防局、湖西市消防本部）

c 緊急消防援助隊（栃木県、東京都、神奈川県）

d 静岡DMAT

(iii) 実施状況

| 救護所活動状況（スコリア工場）   |  |
|---|--|
|  |  |
| 救護所活動状況（多目的グラウンド）   | 仮想病院搬送状況（天城会館）   |
|  |  |

オ 道路啓開訓練

(7) 日 時

令和6年11月14日（木）午前9時15分から午前10時40分まで

(4) 場 所

天城ふるさと広場 多目的グラウンド

(7) 参加者

- a 被災地消防本部（駿東伊豆消防本部）
- b 静岡県内消防応援隊（静岡市消防局）
- c 緊急消防援助隊（東京都）
- d （一社）静岡県建設業協会
- e 国土交通省沼津河川国道事務所

(2) 実施状況

| 道路啓開に伴うドローン調査   | 建設業協会による道路啓開   |
|---|--|
|   |   |
| 消防重機による道路啓開   |  |
|  |  |

カ 大規模転院搬送対応訓練

(7) 日 時

令和6年11月14日（木）午前8時40分から午前10時40分まで

(4) 場 所

あまぎ 天城ふるさと広場 多目的グラウンド

(7) 参加者

緊急消防援助隊（栃木県、東京都、神奈川県）

(2) 実施状況

| 大規模転院搬送実施救急隊による情報共有   | 救急特別編成部隊   |
|---|--|
|   |   |
| 道路啓開実施後の救急部隊進出状況  |  |
|  |  |

キ ブリーフィング訓練

ブリーフィング訓練は、「第3 情報収集・情報伝達訓練」の「6 WEB 会議システム活用訓練」と同様の訓練であるため、訓練内容はWEB 会議訓練を参照

(2) 御殿場エリア

ア 目的

- (7) 現場へ進出可能な車両台数が限られた状況での必要資機材や人員の投入方法の判断力の強化
- (4) 後続隊との情報共有、救助活動における連携力の強化
- (7) 小型救助車や水陸両用バギーの活用及び活用可否の判断

イ 土砂災害救助訓練

(7) 日時

令和6年11月13日（水）午前11時00分から午後3時30分まで

令和6年11月14日（木）午前7時30分から午前10時30分まで

(4) 場所

二葉建設（株）東山工場

(7) 参加者

- a 被災地消防本部（御殿場市・<sup>おやま</sup>小山町広域行政組合消防本部）
- b 緊急消防援助隊（茨城県、群馬県土砂・風水害機動支援部隊、埼玉県）
- c 陸上自衛隊（第34普通科連隊）
- d 静岡DMAT
- e 認定NPO法人災害救助犬静岡

(2) 訓練レイアウト



(カ) 実施状況

|   |  |
|---|--|
| <p>現場指揮本部での情報共有</p>   | <p>災害現場への部隊進出状況</p>  |
|    |    |
| <p>水陸両用バギーの使用状況</p>   | <p>埋没車両からの救出状況</p>   |
|   |   |
| <p>生き埋めからの救出状況</p>  |  |
|  | <p>要救助者の救出状況</p>   |
|  |  |

## ウ 浸水害救助訓練

## (7) 日 時

令和6年11月13日（水）午後0時35分から午後3時15分まで

令和6年11月14日（木）午前8時20分から午前9時30分まで

## (4) 場 所

二葉建設（株）東山工場

## (7) 参加者

a 被災地消防本部（御殿場市・おやま小山町広域行政組合消防本部）

b 緊急消防援助隊（茨城県）

c 静岡DMAT

## (2) 訓練レイアウト



(7) 実施状況

浸水災害からの救出状況



低所からの救出状況



エ 救護所設置・運営・患者搬送訓練

(7) 日 時

令和6年11月13日（水）午前11時00分から午後3時30分まで

令和6年11月14日（木）午前7時40分から午前10時30分まで

(4) 場 所

二葉建設（株） 東山工場、御殿場プレミアム・アウトレット駐車場No.24

(7) 参加者

- a 被災地消防本部（御殿場市・<sup>おやま</sup>小山町広域行政組合消防本部）
- b 緊急消防援助隊（茨城県、群馬県土砂・風水害機動支援部隊、埼玉県）
- c 静岡DMAT

(2) 実施状況

| 救護所の設置状況  |  |
|---|--|
|   |   |
| 救護所での活動状況   | 仮想病院への搬送状況   |
|  |  |

オ 道路啓開訓練

(7) 日 時

令和6年11月13日（水）午前12時00分から午後2時00分まで

(4) 場 所

二葉建設（株）東山工場

(7) 参加者

- a 緊急消防援助隊（埼玉県）
- b 陸上自衛隊（第34普通科連隊）

(2) 実施状況

| 陸上自衛隊員による道路啓開   | 消防重機による道路啓開  |
|---|--|
|   |   |
| 道路啓開実施後の進出状況  |  |
|  |  |

カ ブリーフィング訓練

ブリーフィング訓練は、「第3 情報収集・情報伝達訓練」の「6 WEB 会議システム活用訓練」と同様の訓練であるため、訓練内容はWEB 会議訓練を参照

## (3) 富士宮エリア

## ア 目的

- (7) 浸水害による進出困難現場及び不安定な環境下での活動能力の向上
- (4) 水陸両用車等を活用した活動の効果・検証
- (7) 進出困難現場（山間部）への人員輸送及び複数の応援隊との連携
- (2) 水利の乏しい地域での活動を想定した効果的な長距離送水活動能力の向上及び応援隊との連携
- (7) 大容量送水ポンプ車、大型放水砲搭載ホース延長車等を活用した活動の効果・検証
- (7) 一斉放水及び空中消火による緊急消防援助隊のPR活動

## イ 浸水害救助訓練

## (7) 日時

令和6年11月13日（水）午前11時00分から午後4時30分まで

## (4) 場所

田貫湖

## (7) 参加者

- a 被災地消防本部（富士宮市消防本部）
- b 緊急消防援助隊（千葉県、山梨県、長野県）
- c 静岡県警察本部
- d 国土交通省静岡国道事務所

## (2) 訓練レイアウト



(カ) 実施状況

中型水陸両用車の進出状況



漂流家屋（模擬家屋）の活動状況

漂流家屋（津波シェルター）の活動状況



漂流家屋（水上テント）の活動状況

水陸両用バギーによる搬送



河川からの救出状況



## ウ 孤立者救助訓練

## (7) 日 時

令和6年11月13日（水）午前11時00分から午後4時30分まで

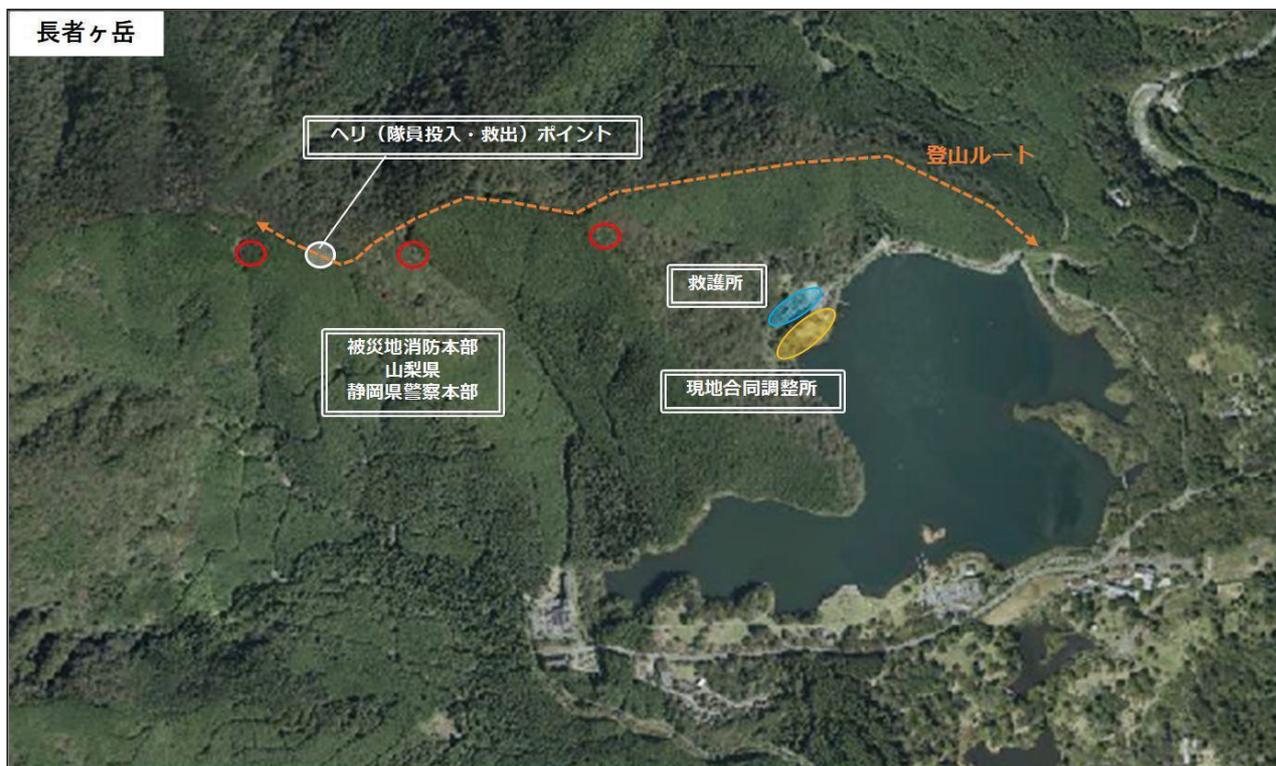
## (4) 場 所

長者ヶ岳

## (7) 参加者

- a 被災地消防本部（富士宮市消防本部）
- b 緊急消防援助隊（山梨県）
- c 静岡県警察本部

## (2) 訓練レイアウト



(4) 実施状況

部隊進出（ヘリ）状況



投入部隊による情報共有

孤立者（山間部）の救出状況



要救助者の背負い搬送



要救助者の徒手搬送



## エ 大規模火災消火訓練

## (7) 日 時

令和6年11月14日（木）午前7時30分から午前10時30分まで

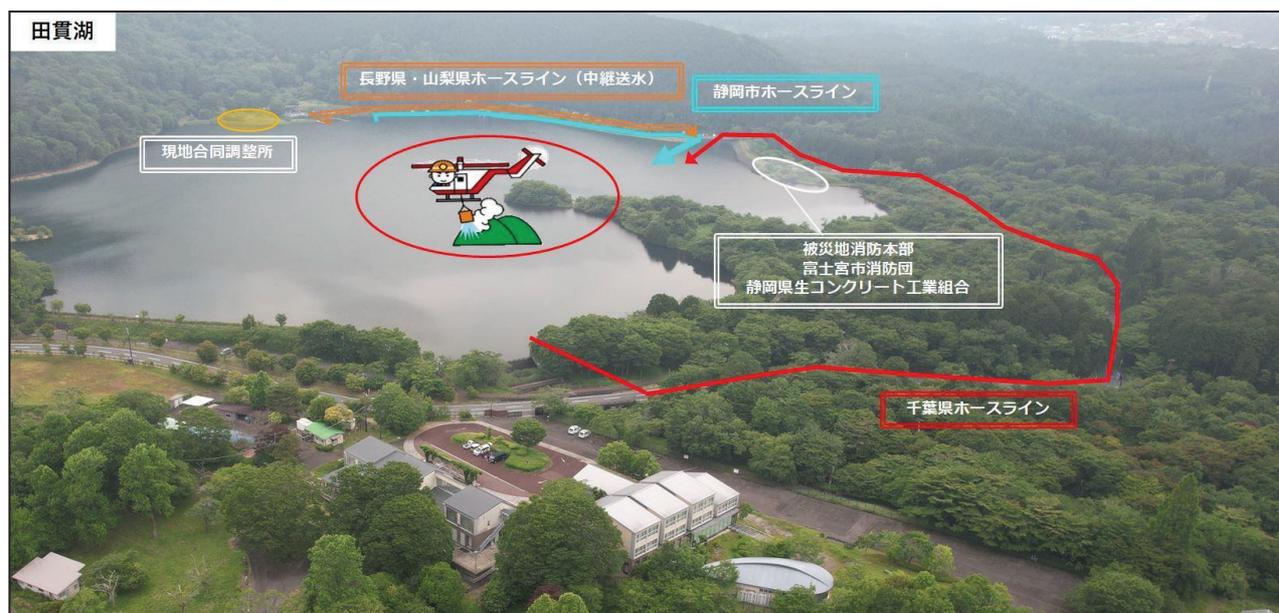
## (4) 場 所

田貫湖

## (7) 参加者

- a 被災地消防本部（富士宮市消防本部）
- b 緊急消防援助隊（千葉県、山梨県、長野県、静岡市消防局エネルギー・産業基盤災害即応部隊）
- c 富士宮市消防団
- d 静岡県生コンクリート工業組合

## (2) 訓練レイアウト



(カ) 実施状況

大容量送水ポンプ車による活動



ホース長距離延長



ヘリコプターへの給水



ミキサー車による補水



ヘリコプターによる消火用水の自給



大規模消火活動状況



オ 救護所設置・運営・患者搬送訓練

(7) 日 時

令和6年11月13日（水）午前11時00分から午後4時30分まで

(4) 場 所

田貫湖、日蓮正宗総本山大石寺東山駐車場

(7) 参加者

- a 被災地消防本部（富士宮市消防本部）
- b 緊急消防援助隊（千葉県、山梨県、長野県）

(2) 実施状況



カ ブリーフィング訓練

ブリーフィング訓練は、「第3 情報収集・情報伝達訓練」の「6 WEB 会議システム活用訓練」と同様の訓練であるため、訓練内容はWEB 会議訓練を参照

### 3 NBC 災害救助訓練

#### (1) 目的

NBC災害即応部隊は、平成31年に新設されてから、関係機関が集結し訓練する機会が少ない。また、NBC災害は、発生する頻度が低いにも関わらず、大量の被災者が出るため、対応するには通常の集団災害対応に加え、高度な知識、ゾーニング、防護措置、除染等を迅速に行うことが不可欠となることから関係機関と連携した効率的、有効的な活動の確認

ア 各部隊と共有したゾーニング、進入時間、適正な防護措置での活動管理

イ 出動部隊、要救助者状況に応じた効果的、効率的な救助手法及び短時間で確実な救命を主眼とした除染活動

#### (2) 日時

令和6年11月13日（水）各部隊が訓練会場へ到着してから午前11時30分まで

#### (3) 場所

天城ふるさと広場 天城ドーム、天城会館（仮想病院）、道の駅伊豆月ヶ瀬

#### (4) 参加者

ア 被災地消防本部（富士山南東消防本部）

イ 静岡県内消防応援隊（下田消防本部、駿東伊豆消防本部、熱海市消防本部、富士市消防本部、静岡市消防局）

ウ 静岡市消防局指揮支援隊

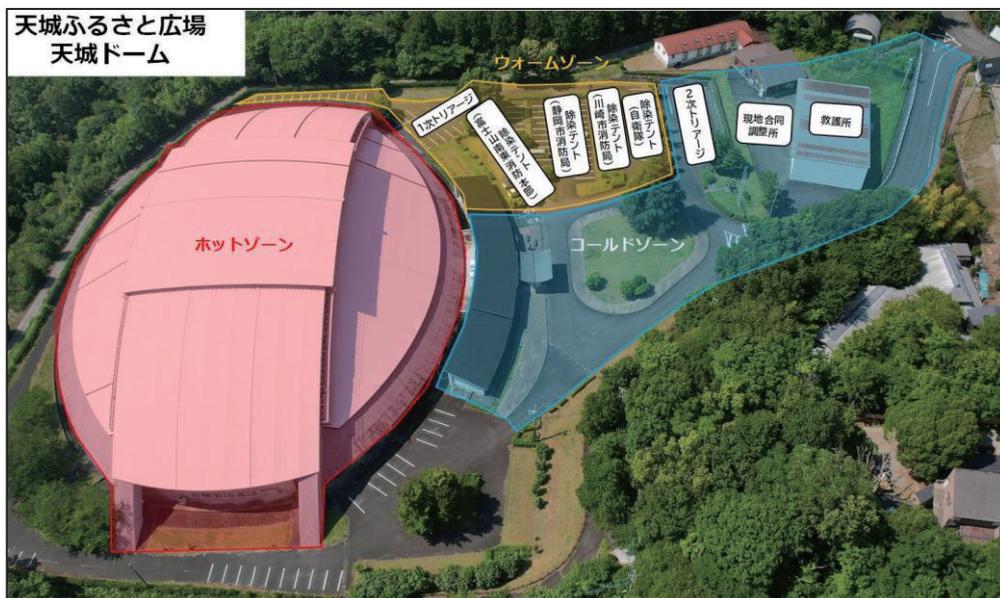
エ 川崎市消防局 NBC 災害即応部隊

オ 甲府地区広域行政事務組合消防本部 NBC 災害即応部隊

カ 陸上自衛隊（第34普通科連隊）

キ 静岡県警察本部

#### (5) 訓練レイアウト



(6) 実施状況

|   |  |
|---|--|
| <p>進入統制ライン設置</p>  | <p>広報活動実施状況</p>  |
|    |    |
| <p>進入準備の状況</p>  | <p>災害現場へ進入</p>   |
|   |   |
| <p>要救助者搬送状況</p>   |  |
|  |  |
| <p>現地合同調整所設置状況</p>  | <p>現地合同調整所での情報共有</p>   |
|  |  |

| 活動隊除染状況  | 要救助者除染状況  |
|--|---|
|  A photograph showing several individuals in full-body protective suits (one in blue, others in green) standing outdoors. They appear to be in the process of being decontaminated or are observing the process. A large amount of water is being sprayed, creating a mist. |  A photograph showing a person lying on a stretcher being moved through a yellow inflatable decontamination tunnel. Several individuals in white protective suits are standing around the tunnel, likely monitoring the process.              |
| 解毒剤自動注射器使用状況   | 救護所活動状況   |
|  A close-up photograph of a person's hand holding a white auto-injector device. The device has a label with Japanese text and a red arrow pointing to the right. The person is wearing an orange protective suit.  |  A photograph of an indoor first aid station. Several individuals in blue and orange protective suits are gathered around a person lying on a stretcher on a blue tarp. They appear to be providing medical care or preparing for transport. |